

令和2年度 那須塩原市建設工事成績評定結果

1. 対象

那須塩原市が発注した設計金額130万円を超える建設工事かつ、令和2年度（令和2年4月1日から令和3年3月31日）で契約検査課が実施する完成検査を終了した建設工事を対象とする。

建設工事完成検査件数

[単位：件]

工種別	令和2年度	令和元年度	増減
土木一式工事	55	66	▲11
建築一式工事	16	26	▲10
電気工事	15	34	▲19
管工事	18	35	▲17
舗装工事	31	25	▲6
水道施設工事	24	22	▲2
その他工事	13	20	▲8
計	172	228	▲56

2. 評定点

令和2年度に完成検査を実施した全工事の平均評定点は73.2点であり、直近3カ年で大きく変わりはない。（図1参照）

前年度との比較では、全体で0.5ポイントほど下降し、工種別では、水道施設工事、解体・その他工事を除く種別で下降する結果であった。

図1. 令和2年度 建設工事【工種別一平均、最高、最低工事成績評定】

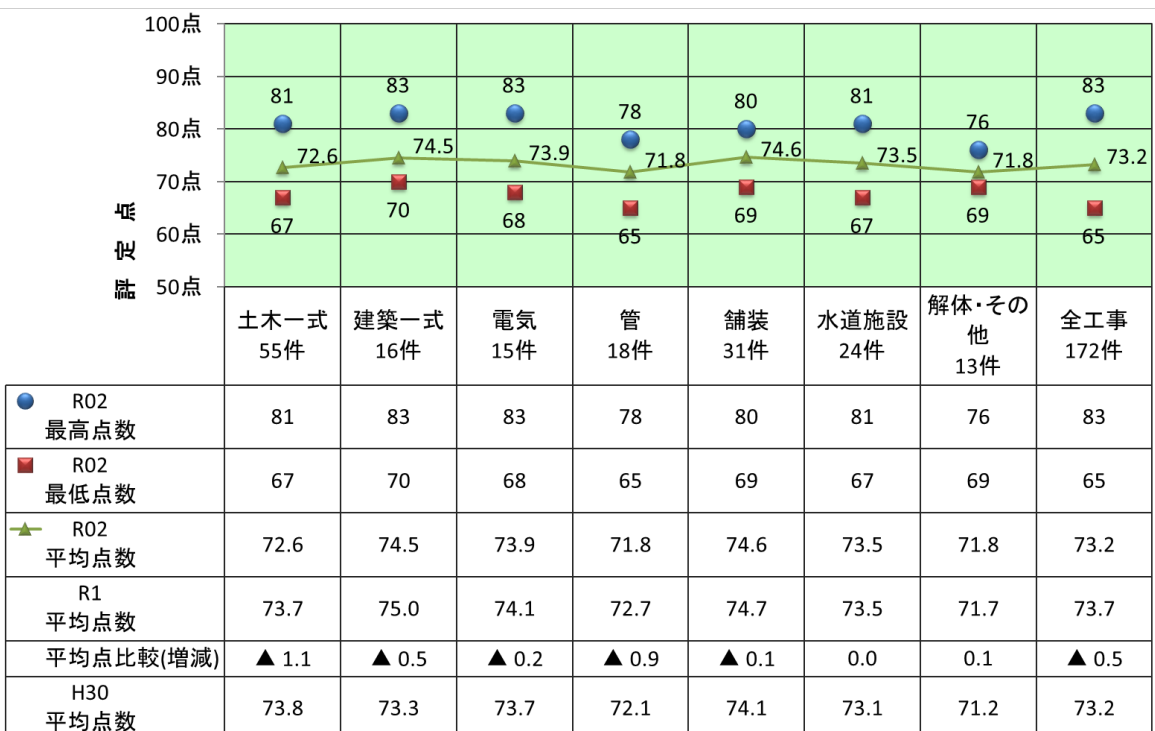
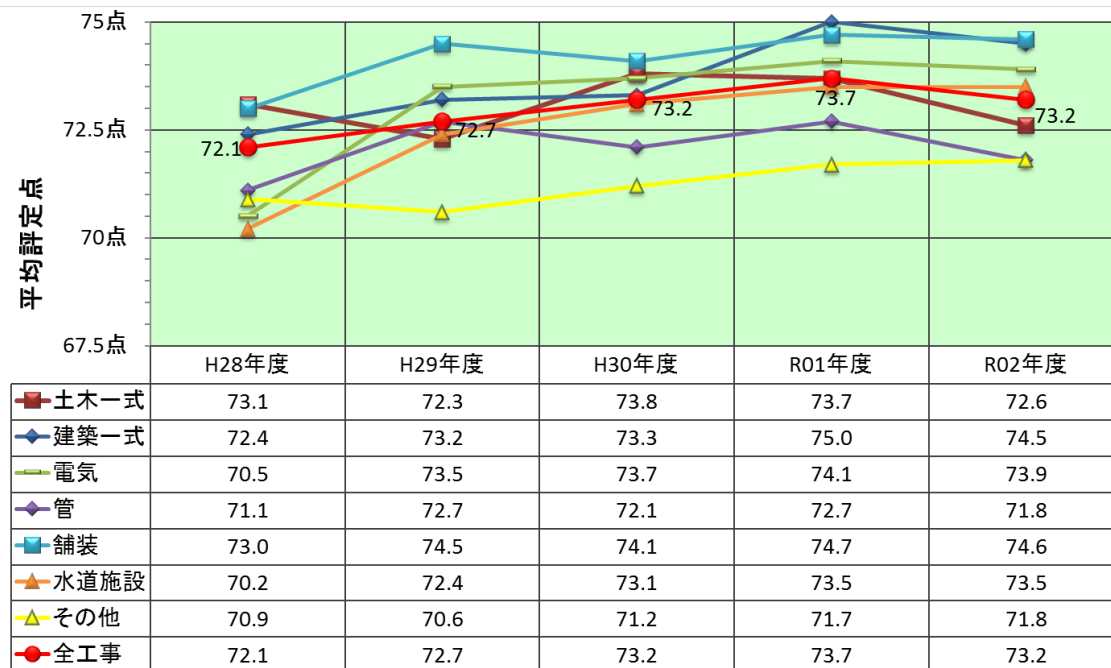


図2. 過去5カ年の建設工事【工種別一平均工事成績評定点推移】



3. 総合評価

総合評価のランク（以下、評価という。）別に分類した場合の令和2年度における工事件数は、A評価は6件、B評価は56件、C評価は110件、D評価、E評価は0件である。（図3参照）

A評価対象工事については、令和元年度の5.7%から、令和2年度は3.5%と僅かに下降しており（図3、図4参照）、B評価についても、令和元年度の35.1%から、32.6%に下降している。C評価は前年度と比べ若干の上昇があった（59.2%→64.0%）。指名に影響を及ぼすおそれのあるE評価及び改善を要するD評価はともに0件となり、64点以下の工事はない。

図3. 令和2年度建設工事【工種別一総合評価】件数分布状況

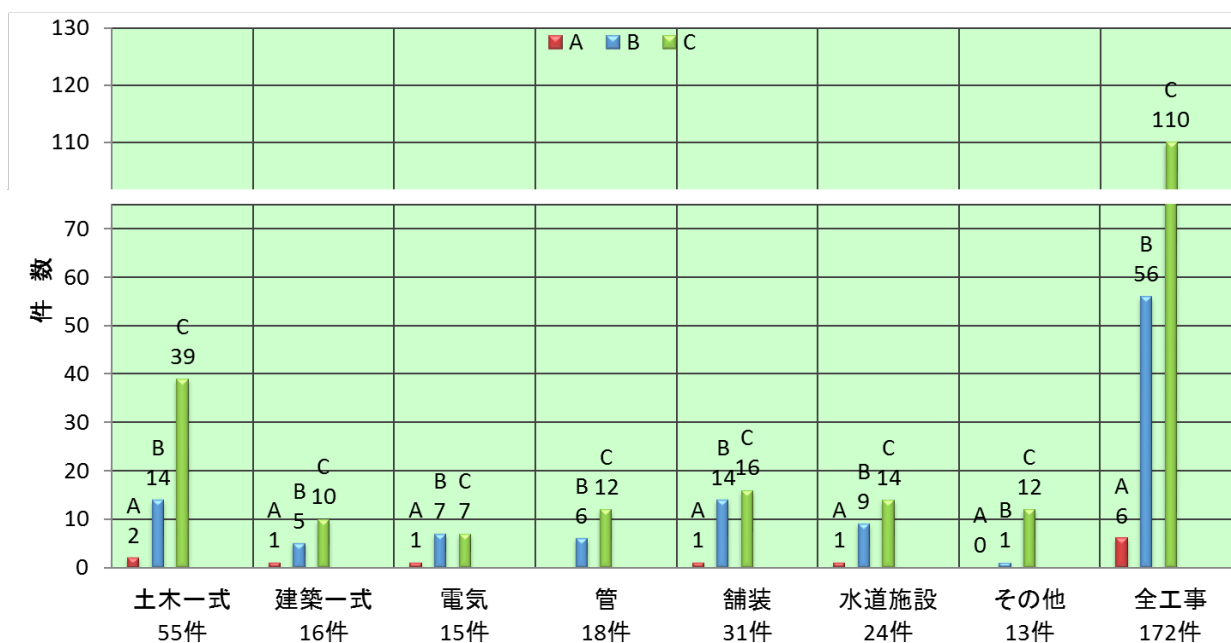


図4. 令和元年度建設工事【工種別—総合評価】件数分布状況

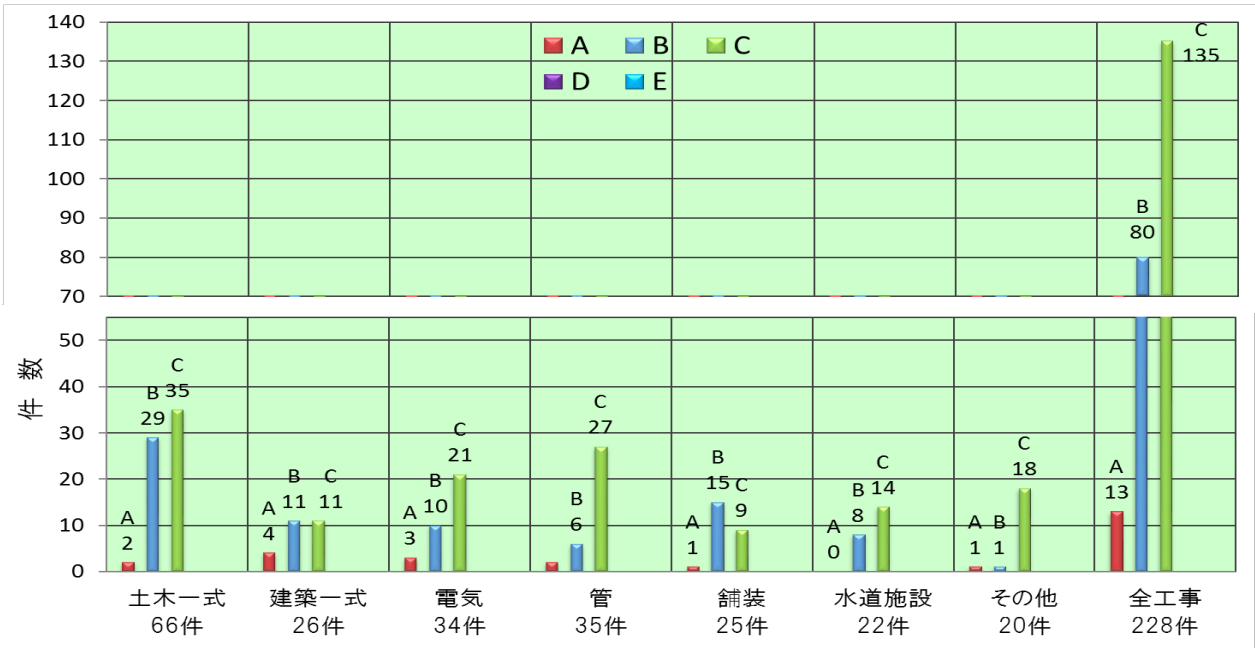


表1. 総合評価の標準

ランク	評定点の標準値	総合評価の標準	
A	80点以上	他の模範となる優秀な工事	
B	75～79点	標準的工事	Aランクではないが、標準的工事の中で優秀なもの
C	65～74点		標準的な工事
D	60～64点		Eランクではないが、今後改善すべき事項がある工事
E	59点以下	今後指名等に影響を及ぼす恐れのある工事	